

京都産業21

News

創刊号 / 2001.4

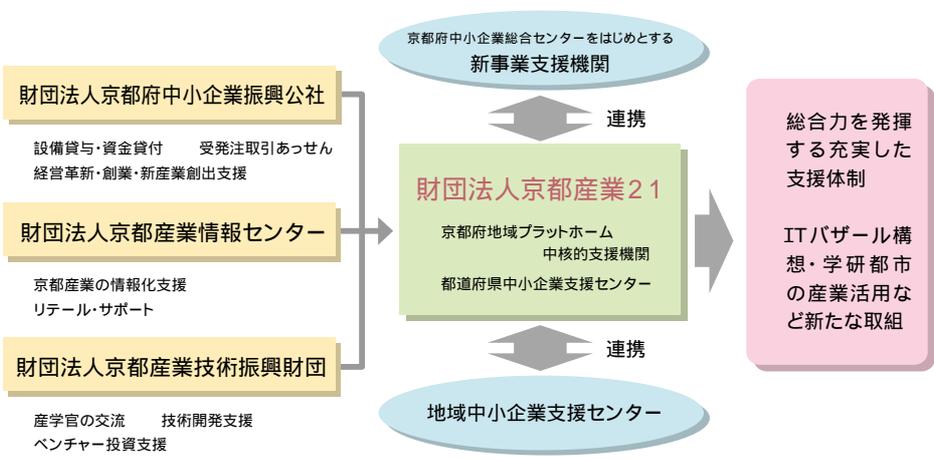
財団法人 京都産業21
 総務部(総務課、企画広報課)
 産業振興部(企業振興課、商業支援課、設備助成課)
 TEL.075-313-1159 FAX.075-321-5253
 産業情報部
 TEL.075-315-8677 FAX.075-314-4720
 新事業支援部(新事業課、経営革新課、技術支援課)
 TEL.075-315-8848 FAX.075-323-5211
 北部支所
 TEL.0773-27-0661 FAX.0773-20-2037
 北部支援室
 TEL.0772-69-3675 FAX.0772-69-3880
 けいはんな支所
 TEL.0774-95-5028 FAX.0774-98-2202

<http://www.joho-kyoto.or.jp/ki21/>

新財団が誕生しました

2001年4月、(財)京都府中小企業振興公社、(財)京都産業情報センター、(財)京都産業技術振興財団が統合して、『財団法人京都産業21』が誕生しました。

『財団法人京都産業21』は、産学官の連携による中小企業の経営革新、新事業展開、新産業育成、創業、企業のIT化推進など支援機能をさらに強化し、利用者の立場に立ったワンストップ体制をつくることにより、総合的支援機関として、京都企業の事業活動の発展と京都産業の振興に貢献することをめざします。



概要

- (1) 発 足 2001年4月1日
- (2) 基本財産 1億2,825万円
- (3) 目 的

本財団は、産学官の連携のもと、創業や中小企業の技術及び経営の革新、新事業の創出など様々な局面における技術開発、人材育成、市場開拓、資金調達など多様な事業活動を総合的に支援し、もって京都産業の振興に資する (寄附行為第3条)

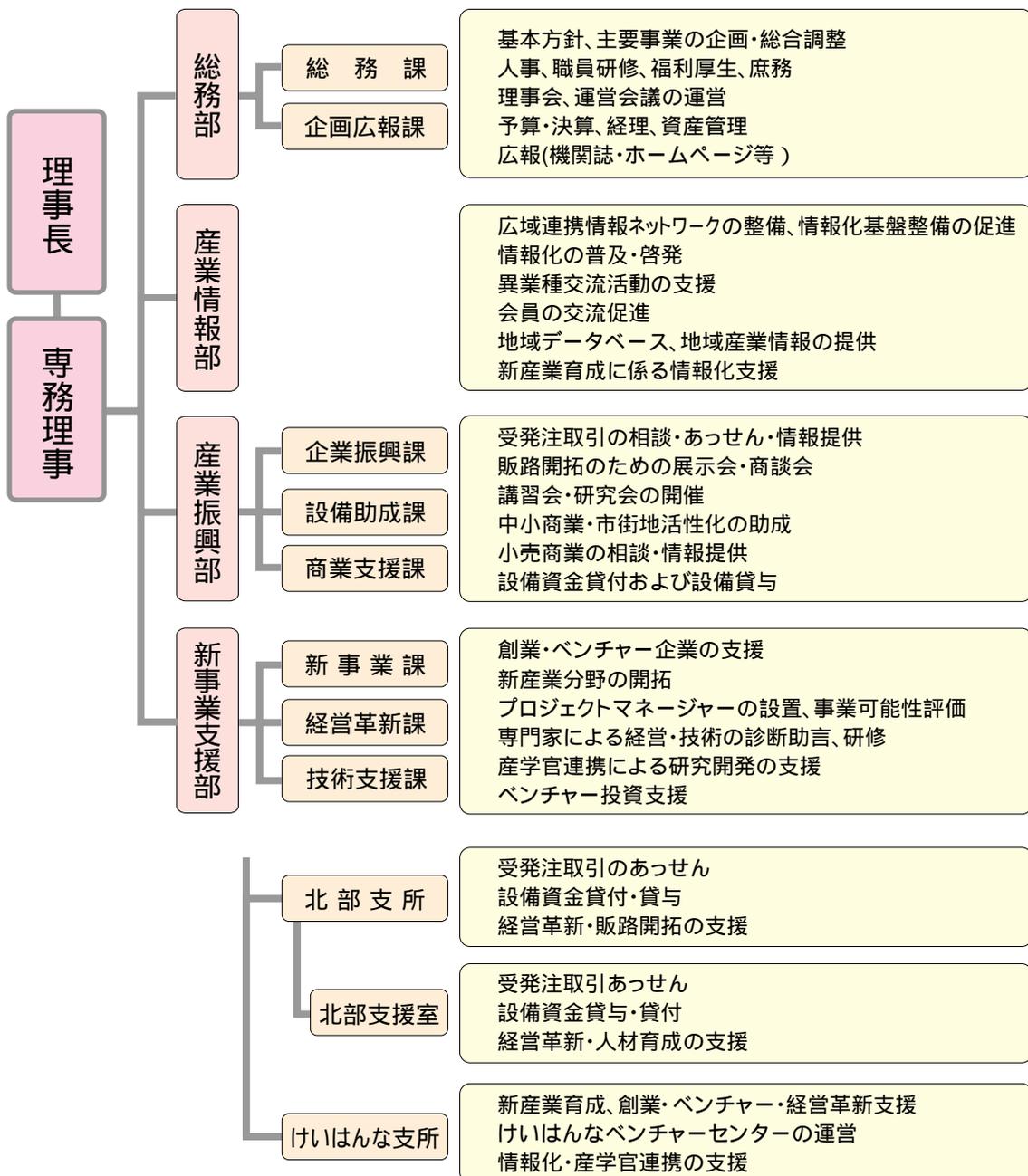
- (4) 事 業
 - 情報技術活用の支援に関する事業
 - 技術開発の支援に関する事業
 - 受発注取引の斡旋及び適正化に関する事業
 - 経営及び技術に関わる相談、調査並びに情報の収集及び提供に関する事業
 - 人材育成の支援に関する事業
 - 投資、債務保証並びに資金の貸付及び設備の貸与に関する事業
 - その他本財団の目的を達成するために必要な事業 (寄附行為第4条)

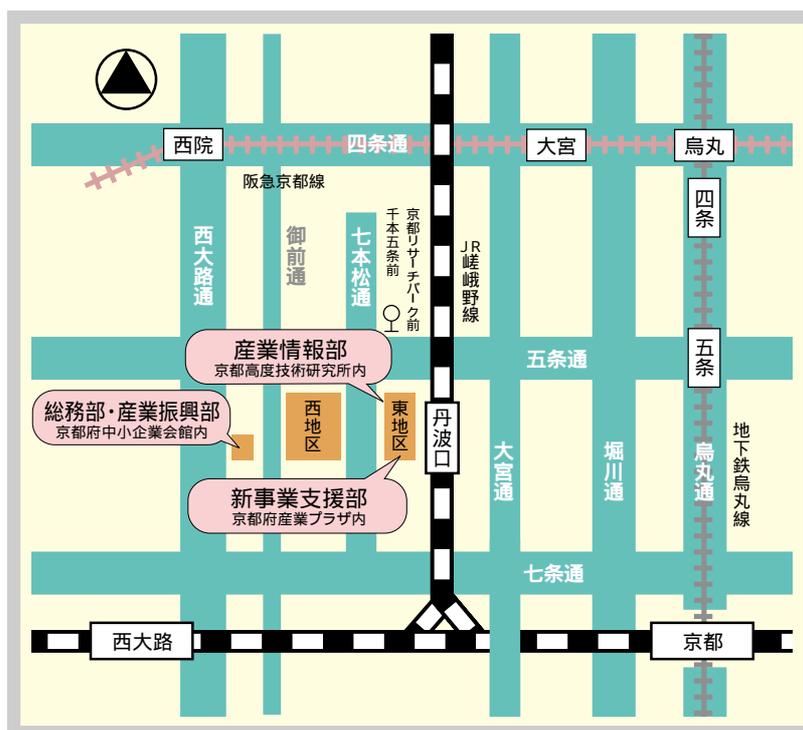
INDEX

新財団が誕生しました	1	遊休機械設備情報(売りたい・買いたいコーナー)	7
組織体制	2~3	取引適正化無料法律相談日のお知らせ	7
《京都ビジネスパートナー交流会2001》盛会裏に終了	4	エデュテイメントフォーラム2001京都を開催しました	8
京都ものづくりフォーラム2001を開催しました	4~5	設備貸与制度(割賦・リース)申込開始	8
あっせん情報(発注・受注コーナー)	6~7		

組織体制

顧問 荒巻禎一 京都府知事 梶本頼兼 京都市長
 村田純一 京都商工会議所会頭
会長 藤原菊男 京都工業会会長
理事長 立石義雄 京都商工会議所副会頭
副理事長 石田隆一(株式会社インダ社長)
 村田泰隆(株式会社村田製作所社長)
 本田 茂(京都府中小企業団体中央会会長)
専務理事 高橋善男
理事 12名
監事 2名





財団法人 京都産業21

URL <http://www.joho-kyoto.or.jp/> ki21/

総務部(総務課、企画広報課)

産業振興部(企業振興課、商業支援課、設備助成課)

〒615-0042 京都市右京区西院東中水町17(京都府中小企業会館内)

TEL 075-313-1159 FAX 075-321-5253

E-mail promote@kyoto-kosha.or.jp

産業情報部

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町17(京都高度技術研究所内)

TEL. 075-315-8677 FAX. 075-314-4720

E-mail office@mail.joho-kyoto.or.jp

新事業支援部(新事業課、経営革新課、技術支援課)

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町17(京都府産業プラザ内)

TEL. 075-315-8848 FAX. 075-323-5211

E-mail support@kyoto-kosha.or.jp

北部支所

〒620-0853 京都府福知山市長田野町3丁目1-1(福知山市企業交流プラザ内)

TEL. 0773-27-0661 FAX. 0773-20-2037

E-mail sshisho@kyoto-kosha.or.jp

北部支援室

〒627-0011 京都府中郡峰山町丹波139-1(京都府織物・機械金属振興センター内)

TEL. 0772-69-3675 FAX. 0772-69-3880

E-mail sshien@kyoto-kosha.or.jp

けいはんな支所

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんなプラザ内)

TEL. 0774-95-5028 FAX. 0774-98-2202

E-mail keihanna@mail.joho-kyoto.or.jp

《京都ビジネスパートナー交流会2001》盛会裏に終了!!

来場者数1500名! 商談件数700件!

去る3月8日(木)、国立京都国際会館において、京都府との共催により「京都ビジネスパートナー交流会2001」を開催しました。



今回、府内中小企業143社6グループが参加し各社が製作したオリジナル製品、ITや特殊技術を駆使した加工部品、また、それらのパネル等を展示し、優秀な“京都技術”を府内のメーカーや一般に広くアピールすることができました。

来場者数は約1500名(前回700名)を数え、会場内は終日、熱気にあふれ、活発な商談が行われました。

また、同時開催イベントとして、TOWA(株)の坂東和彦氏の講演、並びに「21世紀の勝ち残り をかけた生産革新」と題した事例発表会も併せ開催しました。

京都ものづくりフォーラム2001を開催しました

京都ビジネスパートナー交流会2001同時開催イベントとして、「京都ものづくりフォーラム2001」を国立京都国際会館に300余名の参加者を得て、開催しました。

テーマ

「ものづくりとオンリーワン技術」

講師

TOWA株式会社

代表取締役会長 坂東 和彦 氏



講演要旨

当社は昭和54年に創業し、早くから半導体プラスチックパッケージのFA化に着目し、その中核となる金型製作とFA化装置の設計製作を主体的に絞り込み、徹底して商品力を高めることにより、現在では売上高320億円と、この分野における市場シェア

40%を占めるところとなりました。

私どもがこの分野に参入したきっかけは、私が縁あって家電メーカーの技術屋さん数名と米国へ金型工場の見学に出かけたことに端を発しています。まず私たちがコンピュータ工場を視察した時、そこに

納入されていた半導体向けの試作装置を見て、将来性への直感がひらめきました。爾来、続けて参った半導体製造装置の研究と開発に明け暮れる毎日が、その後に見られる半導体産業の発展軌道と共に業容の著しい伸長をもたらし、あのバブル不況をも潜り抜けて平成8年には証券市場に株式を上場することができました。(現在・東証及び大証第一部)

当社は独自の開発理念を持っています。具体的には、開発対象をとことん絞り込んで突き進むという集中開発方式を採用して今日に至っています。このため商品開発は技術スタッフのみに留まらず、営業や生産スタッフをも含めての合同検討から進めることが大切な第一歩と考えています。営業スタッフからの提案はユーザーに直結した情報ですから、極めて斬新なアイデアが出ます。また生産スタッフからは、技術スタッフだけでは思いもつかなかった加工法やコスト面での貴重な提案が続出します。

映画界の巨匠であった黒澤明さんは、脚本の作成にあたっては4人のメンバーによる合議を基本に進められていたとの由、奇しくも当社では、この黒澤方式を知らず知らずに実践していた事ともなっており、これにあやかって当社がこれまで市場に問うた商品の殆んどがヒットに繋がる成果を生みました。その様な開発商品群を、世界中のコンペイター(競争相手)さんたちは早くも1年、平均して2年の後には必ずと申しているほど追随してこられます。この分野に限っては、常に当社は世界のリーディングポジションにあることを自負しています。

私どもでは「クォーター・リード」という言葉を大事にしてきました。これは4分の1歩先を考えた商品開発体制を重要視するという事です。つまり、何歩も先の、なにか凄いものを狙うといったような事ではなくて、すぐ目の前に見える4分の1歩先に集中しての絞り込みですから、次々と程よいところのアイデアが生まれてきます。この「クォーター・リード」という商品開発理念が、当社をこれまで成長させてくれた紛れもない事実として存在しています。

このところのロードマップが示す技術革新はますますそのスピードを速めつつあります。なかでもボーダーレス化したアウトソーシングの進展からくる先進技術の平準化は、世界のどこからでも秀れたアイデアが産み出される可能性を拡げています。ですから常に現状に満足せず、さらなる情熱を持ち続け、何

事もスピーディに対応することこそが、これから生き残り、勝ち組入りを果たす条件となることでしょう。

もちろん当社では、このような短期商品開発だけで満足している訳ではありません。一方に短期商品開発あれば、こちらに中長期研究開発ありと、常にこの2本柱での商品開発を進めております。その中長期商品開発での代表例には画期的な長寿命商品となった、「マルチ・プランジャ・システム」があります。これは半導体製品を熱硬化性樹脂で封止する工程に用いられる自動化装置用の金型システムです。開発以来20年にも及んで現在も尚、世界の半導体樹脂封止工程における自動化ラインの90%に採用されるといった「業界標準」を確立しています。これなどはじっくりと腰を据えての取組みによる典型例と申せましょう。

因みに当社は、保有する特許権については、ルールと筋さえ通していただければ、同業他社さんにもご遠慮なくお使いいただくという姿勢を貫いています。それは革新と拡充の限りない将来性をもつ半導体産業界を対象とするとき、その供給責任からも先進技術は業界全体が挙って活用することこそ肝要との考え方によるものです。その結果TOWA方式の多くが、こんにち世界のデファクト・スタンダードに定着することに繋がりました。

ところであの有名な平等院の国宝阿弥陀如来坐像は大仏師定朝による「寄木造り」という分割技法によっています。一木造りに見られる様な大材を要せずに撰ばれた良材の適部適材化と、干割れを防ぐと共に軽量化を図ったと見られる内面挟りの加工手法、また像全体の部品化構成は仏師のスキルで仕分けた役割分担によってパラレルな作像の進行を促がし、製作期間の短縮をもたらしたことなどが見てとれます。この阿弥陀如来坐像は千年に近い歳月を経るも、変らぬ御姿でもってそこに座します。

「寄木造り」と呼ばれるこの見事なまでの標準化技法を近代の生産技術に繋いだ結果が精密金型製作法モジュールシステムとなって、現代のものづくりに生きる私どもに確かな手応えを伝えています。

「オンリーワン技術」とは、その時代背景、社会背景によって常に変遷を遂げながらも、その原点に宿るのは、この如来坐像のように人それぞれが極めた叡智と深い造詣だと思っています。

あっせん情報

このコーナーについては、産業振興部 企業振興課までお問い合わせください。
 なお、あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

企業振興課 TEL.075-313-1159

発注コーナー

(平成13年3月30日調)

業種 No.	発注品目	加工内容	地域 資本金 従業員	発注条件							
				必要設備	材料等	数量	金額	支払条件	希望地域	運搬	備考
機-1	リチウムイオン電池	パック加工	京都府乙訓郡 1億2272万円 2294名	スポット溶接機、レーザー 溶接機		話し合い		末日 翌月末日支払	京都南部	片持ち	
						話し合い		全額現金			
機-2	先端スクリュー (リサイクルプラント 摩耗部品)	肉盛溶接加工	京都市伏見区 1000万円 64名	CO2半自動溶接機他		2・3set / 月		25日 翌月15日支払	京都府	片持ち	
						話し合い		全額現金			
織-1	婦人カジュアルシ ャツ	裁断～縫製 ～仕上げ	大阪府東大阪 市1000万円 25名	各種ミン、裁断機、仕上 装置		150～ 70～ 700 1400		20日 翌月20日支払	京都府	片持ち	
								全額現金			
軽-1	木製球	木工加工	京都市下京区 1000万円 5名	ロクロ盤、旋盤		1000個		末日 翌月末日支払	京都府	片持ち	
								全額現金			

受注コーナー

(平成13年3月30日調)

業種 No.	加工内容	主要加工 (生産) 品目	地域 資本金 従業員	主要設備	月間の 希望する 金額等	希望 地域	備考 能力・ 特徴・ 経験等
機-1	アルミ鋳物の機械加工	小物機械部品	京都市伏見区 個人 2名	マシニングセンター、NCフライス盤	話し合い	不問	
機-2	フライス加工	精密機械部品	京都市南区 個人 3名	マシニングセンター、NCフライス盤	話し合い	不問	
機-3	切削加工	産業用機械部品	京都府八幡市 1000万円 60名	NC旋盤、単軸自動旋盤、ベンチレース	話し合い	不問	
機-4	配線加工、 ハーネスケーブル加工	産業機械	京都府城陽市 個人 8名	ハンダこて、圧着工具、ボール盤	話し合い	不問	
機-5	金属切削加工	小型シャフト、 シートベルト用シャフト	京都府久世郡 1000万円 11名	NC自動盤、NC複合旋盤、MC、 超音波洗浄機、粗さ測定器他	話し合い	不問	BNet 受注 No 121
軽-1	鋳造用木型 デザインモデル	木型、鋳物、機械 加工、木製品、 FRP型	京都市下京区 500万円 5名	自動一面かんな、手押しかんな盤、 万能パネルソー、自動プレス、木工用旋盤、 木工用フライス盤、定盤	話し合い	不問	BNet 受注 No 85

業種 No.	加工内容	主要加工 (生産) 品目	地 域 資本金 従業員	主要設備	月間の 希望する 金額等	希望 地域	備考 能力・ 特徴・ 経験等
軽-2	射出成形加工	パッキン	京都府中郡 個人 3名	プラスチック射出成形機	話し合い	不問	
他-1	製作図面からの イラスト作成	パーツリスト、 マニュアル等	京都市左京区 個人 3名	パソコン、1級テクニカルイラストレーション技能士	話し合い	不問	

*備考欄に「BPNet」の表記がある場合は、ホームページのBPNetで詳細がご覧いただけます。

遊休機械設備情報

このコーナーについては、産業振興部 企業振興課までお問い合わせください。
ホームページにおいても掲載しています。

<http://www.kyoto-kosha.or.jp/business/yukyu/index.htm>
なお、あつせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

企業振興課 **TEL.075-313-1159**

売りたいコーナー

(平成13年3月30日調)

機械名	形式・能力等	希望価格
溶接ロボット	松下電器産業、パナロボAW-006A	100万円
回転自動式捺染機	昭和機械、5色機、500×700mm、5000枚/h	話し合い

買いたいコーナー

(平成13年3月30日調)

機械名	形式・能力等	希望価格
圧着工具	ELCO、06-1001-005	2.4万円
圧着工具	ヒロセ、HRS NoCL250-0005-7	2千円

取引適正化無料法律相談日のお知らせ

財団では、取引に関する法律問題や苦情・紛争及び経営活動で生じる様々な問題でお困りの中小企業の方に対し、顧問弁護士による無料相談を下記のとおり行っておりますので、ご利用ください。

相談日 平成13年4月の相談日は17日(火)です。

5月の相談日は8日(火)です。

相談時間 13:30～16:00です。

相談場所 京都産業21 産業振興部 相談室
京都市右京区西大路通五条下ル(京都府中小企業会館6階)

申込方法 事前に相談内容を当財団 産業振興部 企業振興課までご連絡ください。

TEL 075-313-1159 / FAX 075-321-5253 E-mail:kigyo@kyoto-kosha.or.jp

エデュテイメントフォーラム2001京都を開催しました

平成13年3月29日(木)・30日(金)、京都リサーチパークを会場に「エデュテイメントフォーラム2001京都」を開催しました。このフォーラムは、エデュテイメント産業を京都府の新産業として育成するとともにエデュテイメント市場の開拓を推進するため、京都府、京都リサーチパーク(株)等と協力しエデュテイメントフォーラム2001京都実行委員会を設置して開催したものです。本フォーラムでは、セミナー、「総合的な学習の時間」事例発表、企業展示、コンテスト公開審査・表彰式などを行い、全国から教育関係者や企業関係者など2日間で約9,000人が来場しました。

セミナー

エデュテイメントの明日を考えるセミナーが開かれ、29日「21世紀の科学を担う若者へのメッセージ」「世界のIT教育事情」、30日「インターネットがつなく放送と教育～総合的な学習の時間への取り組み」等をテーマに産業界、大学研究者、教育関係者、放送関係者等の各界の有識者によるセミナーが開催されました。

29日(木)のTV会議公開講座では宇宙飛行士の毛利衛氏に科学への熱い思いを語っていただきました。

「総合的な学習の時間」事例発表

「総合的な学習の時間」とは、教科書も指導書もないすべて学校・教員の自主性に任せるという授業スタイルです。全国から先駆的に取り組んでいる教育関係者から、実践例が報告されました。

企業展示

企業展示では、全国からエデュテイメントコンテンツ開発企業、教育システム開発企業や大学等が集まり、自社の商品を展示。子供達がマウスを操り楽しそうにパソコンの画面に見入っていました。また、出展企業間、企業・教育機関間のビジネスマッチングも行われました。



コンテスト公開審査・表彰式

昨年10月以降、国内外から作品を募集した結果45作品の応募があり、優秀賞4点、京都府特別賞1点の中から、公開審査によって最優秀賞1点が選定されました。

最優秀賞の審査は、こうしたコンテストでは珍しい公開審査で行われ、応募者自らが行う作品のプレゼンテーションや各審査員の質問、講評などを参観者が興味深そうに見入っていました。

最優秀賞には日本サステイナブル・コミュニティ・センターの「音で覚えるキーボード『ウチコミくん』」が受賞しました。

設備貸与制度(割賦・リース)申込開始 お気軽に、ご相談ください。

〈割賦販売〉

- ・利用限度額 100万円 ~ 6,000万円
- ・償還期間 7年(ただし、法定耐用年数以内)
- ・割賦損料 年率 2.75%

〈リース〉

- ・利用限度額 100万円 ~ 6,000万円
- ・償還期間 3年 ~ 7年(法定耐用年数に応じて)
- ・月額リース料率 3.006%(3年) ~ 1.408%(7年)

* 原則、小規模企業者(従業員20人以下(商業・サービス業は5人以下))の方が対象となります。
なお、割賦損料・リース料率につきましては、金利情勢に応じて変動します。
詳細につきましては、産業振興部 設備助成課までお問合せください。

お問合せ先 / 産業振興部 設備助成課

TEL 075-313-1159 / FAX 075-321-5253 E-mail: promote@kyoto-kosha.or.jp
ホームページにおいてもご案内しています。http://www.kyoto-kosha.or.jp/business/setubi/index.htm